



Press release

2019年2月27日

アクサ生命、岐阜県と「『健康経営』推進等に関する連携協定」を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役副社長:幸本智彦)は、2019年2月27日、岐阜県(知事:古田 肇)と、企業及び団体等における健康経営[※]の推進等に相互連携・協力して取り組むことについて、協定を締結しました。

本協定は、岐阜県と当社が、「清流の国ぎふ健康経営推進事業」の登録制度をはじめとする県の健康増進施策の普及推進などにおいて緊密に連携・協力し、企業や団体における健康づくりの取り組みを促進することで、県民の活躍を支える健康づくりに寄与することを目的としています。

本協定に基づき、当社は保険事業や健康経営推進、企業として社会的責任を果たす取り組みなどを通じて培った知見と人的ネットワークを岐阜県の各種施策に役立てていただき、県民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために取り組んでまいります。

(連携・協力事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力する。

- (1) 企業及び団体等における健康経営の推進に関すること
- (2) 健診(検診)受診の促進等に関すること
- (3) がん対策に関すること
- (4) その他、健康づくりの推進に資すること

アクサ生命は、岐阜県内において、1971年3月に美濃商工会議所の特定退職金共済制度、同年12月に大垣商工会議所の生命共済制度の受託を開始するなど、県内商工会議所の共済制度の推進を通じて、事業所の皆さまの福利向上を図るべく、地域に根差した活動を続けてまいりました。昨今では、従業員の健康増進を通じた事業の活性化と持続的発展に向け、事業所における健康経営の普及推進についても県下の商工会議所と協働しています。

アクサ生命は、県民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」となることを目指し、本協定の連携・協力事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、237 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2017 年度には、2,500 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 63 ヶ国で 17 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2018 年度通期の売上は 1,029 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは 62 億ユーロ、2018 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,240 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>